

1. 診療所関連

4/21、5/11、「ぶなの森」と協議。（管理センター鈴木次長、鈴木容子さん同席）

- ・セントラル病院の玉木院長としては、先生を信頼している患者さんも多い事から、往診なども考えているようだ。確定ではないが。
- ・移転先の山水病院は10月開院予定であり、セントラル病院は年末まで残るようだ。
- ・関連あるか？、NTT病院は医師を増員している様。農村改善センターの診療所へ医師派遣
- ・「なでしこクリニック」熱海は往診専門、現在事務所を構えている、医師は2名、開業3～4年目
「ぶなの森」へは週1回往診、熱海をたたんで「ぶなの森」へ移転する事は不可能。
- ・「ぶなの森」は医療施設に関しある程度持ちたいと考えている（診療所程度）、ここを拠点に周辺山間地へ往診する。患者のキャパが増えれば、なでしこ側も安心できるか。
- ・「ぶなの森」の現状、特養としてのキャパが満杯状態、施設員など増員、温泉があり浴室開放、診療施設、やる事は豊富のよう、医療プロジェクトを立ち上げる考え。
これらを踏まえ定期的に打ち合わせを行う。

5/11の打ち合わせ（鈴木次長同席）

- ・「なでしこ」、1名は静岡（草薙）、1名が熱海、静岡は余裕なし、熱海は若干余裕あり、事務関係の処理もあり、事務関係を雇う余裕はない。
- ・「ぶなの森」では“医療プロジェクト”を立ち上げ、平成30年にオープン予定で施設増築を進めている、県へ説明、伊豆の国市への要望となるが。
現在25名→35名定員、ショートステイ40室増設、温泉施設あり（敷地内にある）、会議室など地域の方達の利用が可能、診療室はここへ入る。
- ・2015年より、病院では入院日数を減らす方向へ、患者さんのリハビリなどの受け皿となる施設が必要、家族の方々の不安あり。
- ・訪問診療として周辺の診療所、【花の丘診療所（伊豆の国市）、なでしこ（熱海市）】など個人的に診療を要請している患者がいると思われる事から。今後の方向性として、セントラル病院玉木院長なでしこクリニック、花の丘診療所、その他、協力してもらえらる機関の割り出しをする。患者とその機関の橋渡しができるように、区民の会と管理センター・ぶなの森が協議して行く、今後は役場にも
ダイヤモンド区としての考え方を伝え理解協力を願うつもり。

2. 花上部会長より（役員M1から）

民生委員・児童委員の方々の意見にある、“幹事、班長”と話し合いたいとの意見に関しては、私としては、まず役員であり自主防災会であると思っている

3. 年間会議行事予定

健康推進部会、10月について22日、29日のどちらか。